

日時 校時 クラス	教科	単元名・題材名
1 1月27日 5校時 2年2組 26名	算数	九九をつくろう
本時のねらい	乗法九九を総合的に活用して、ものの数の求め方を、情報を用いて解決できるように工夫して考え、説明することができる。	
評価規準 【評価方法】	ものの数の求め方を、乗法を用いて解決できるように工夫して考え、図などを使って説明することができる。 【ノート、ホワイトボード、発言】	
展開	学習活動	◇留意事項 ★見取りの視点
問題の確認 ( 3 分)	1、前時のまとめ・振り返りをする。 2、本時の資料・問題を見て気づきを発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">㊦はこの中のチョコレートは、全部で何個ありますか。</div> ・チョコレートがないところがある。 ・6個ない。	◇本単元の学習計画の掲示物を用いて確認する。  ◇6個ないという発言は2×3と掛け算で表すよう促す。
めあての設定 ( 2 分)	3、気づきからめあてを設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">㊧かけ算をつかってチョコレートの数を求めよう。</div>	◇児童のスピードに合わせてめあてを板書する。
解決の見通し ( 1 分)	4、問題の解決方法、およその答えを確認する。 (グーパー確かめ) グー…分かる パー…分からない <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;">・分けて考える。 2×3+6×3 (または3×6)、5×3+3×3 3×8、6×4 など ・動かして考える。(6×4または4×6) ・全体からかけている部分を引いて考える。</div> ・解決方法が思いついた児童は、思いつかない児童にやり方を教えに行く。 ・考えが思いつかない児童は友達に聞きに行く。	◇まとまりという言葉が児童から出るようにする。 (まとまりというキーワードは単元の第一時から押さえておく。)  ◇全員立って行い、聞くことの抵抗感を少なくする。 ◇細かく分けている児童には「はかせ」を意識している児童と交流させる。
自力解決 ( 6 分 ) 集団解決 ( 15 分)	5、一人学び (ノート)  6、グループ学習 (ホワイトボード)	◇何も書くことができない児童は、リーダーまたは隣の児童と話しながら行うよう言葉掛けを行う。 ◇言葉と式、図を関連付ける。
価値の共有 ( 7 分)	7、学習したことをまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">㊨チョコレートの数を計算で求める方法は、まとまりを見つけて計算するとできる。</div>	◇まとまりという言葉を意識させて書かせる。
適用問題 ( 5 分)	8、学習したことを使って○の数を求める。	◇適用問題が終わった児童は振り返りを行う。 ◇教師は机間指導で○付けを行う。
振り返り ( 6 分)	9、振り返りを書く。 ① 分かったこと ② 学んだこと (どんな考えが役に立ったか。) ③ 知りたいこと ④分からないこと	